

こども・教育

若者議会

先進市を参考に導入できないか 調査研究していきたいと考えている



小山田なおと議員(公明党)
本市では若者世代の流動性が高いとのことだが、若者が自ら考え、提案した施策によって、暮らしやすいまちになれば若者の定住につながると思う。他市では若者がその能力を發揮し、魅力あるまちづくりを進めるため、「若者議会」が設置されており、このような先進市を参考に本市でも同議会を導入できないか。
答 未来志向で魅力と活力のある自治体を継承していくために、次世代を担う当事者である若者の意見をまちづくりに生かしていくことは重要な視点の一つであると認識している。引き続き、先進事例を調査研究していきたいと考えている。

特別支援学級

今後の設置計画は 速やかに設置を進めていく



廣田徳子議員(日本共産党)
近年、特別支援学級での教育を希望する児童生徒は増加傾向にあると聞く。どの学校にも特別支援学級が設置されていることが理想であると考えているが、今後の設置計画について問う。
答 特別支援学級の設置は、毎年計画的に進めており、令和5年度は、小中学校及び義務教育学校54校中37校に設置している状況である。4年度から特別支援学級の設置に関する調査を実施し、学校や保護者のニーズを確認する中で、その必要性を改めて認識している。今後は、該当する児童生徒の障がいの種類や地域のバランスなどを十分考慮し、速やかに設置を進めていく。

福祉

こども・教育

高齢者見守り支援事業

移行した場合の影響と対応は 負担軽減を図り円滑に進めていく

浅野さち議員(公明党)
今後廃止予定のあんしん電話事業から高齢者見守り支援事業へ移行した場合、利用者にはどのような影響

答 利用者への影響については、自己負担額が多くなることが挙げられる。そのため、負担が大きくなり過ぎないように、利用料金の改定を令和6年1月からの予定とし、負担軽減を図りながら円滑に進めていきたい。また、本事業は防犯などの相談を含むものではないが、相談内容を受け止め、適切に支援機関を案内していく。

特別支援学級等

通級指導教室を含め開室目標は 毎年1校から3校程度順次新設

川畑いつこ議員(公明党)
学習や行動に困難のある子どもたちは程度に応じて特別支援学級や通級指導教室で学習している。該当す

答 当該学級等の設置については、学校、保護者のニーズに対応し、毎年1校から3校程度を順次新設している。児童生徒への切れ目のない支援を提供することが課題であると考えており、教職員間の引き継ぎを丁寧に行うよう指導することにも、児童生徒の実態や保護者、学校のニーズ等を受け止めた上で適任者を配置する人事を行うことに努める。

放課後保育クラブ

長期休暇中 宅配弁当を導入すべき 負担が少ない仕組みを調査する

大場諭議員(公明党)
放課後保育クラブを利用する保護者へのアンケートにおいて、学校の長期休暇中に宅配弁当の利用を希望

答 市内の同クラブのうち約3割のクラスで保護者会や保護者の有志が宅配弁当を利用している。支援員は弁当の受け取りや片付けの協力をしているが、頼み忘れなどのトラブルの対応が負担となっている。今後は、保護者及び支援員の意見を聴きながら、双方にとって負担の少ない仕組みと利用方法を調査・研究していく。

登校渋り

当該児童や保護者へのサポートは 早期発見、早期対応に努めている

ほとだゆうな議員(創生市川)
全く学校に行かないわけではなく、登校を嫌がり遅刻や早退をすることがあるなどの、いわゆる登校渋り

答 早期発見、早期対応を重視し、当該児童生徒の状況に合わせて、学校内の教職員やライフカウンセラーなどについて対応している。また、保護者に対しては教育センターの教育相談窓口において子育てに関する悩みや登校渋りの相談を受ける体制を整えている。

緑地

市民生活

道路交通

若宮第1緑地

管理に計画性がない 市の認識は 樹木の剪定 定期的な実施を検討する

やなぎ美智子議員(日本共産党)
若宮第1緑地におけるごみの不法投棄への市の対応や樹木の剪定作業などについて、近隣住民より、計画

答 本緑地におけるごみの不法投棄については、警告看板の設置により注意喚起を行うとともに、巡視などにより、早期発見及び対応に努めている。また、樹木の剪定については、これまで主に住民の要望を受けて対応していたが、今後、定期的な実施を検討していく。

フードバンク活動

活動を担う団体の支援をするべき 関係団体との連携体制を構築する

野口じゅん議員(チームいちかわ)
本市はフードドライブ事業を開始しており、フードバンク活動を担う団体を通して生活困窮者や子ども食

答 生活困窮者の早期発見や支援につながるために、同団体との連携を強化していく必要があると考えている。令和5年4月には、同団体と市の関連部署などが集まり、食の支援に関する意見交換を行ったところである。今後も、意見交換などを適宜行いながら、連携強化に努めていきたい。

買い物弱者への支援

乗り合いタクシー導入の検討は 要望があれば地域と意見交換を行う

門田直人議員(れいわ新選組)
市北西部ではコミュニティバスの運行中止から移動手段がなく、高齢者に大きな負担がかかっている。埼

答 乗り合いタクシーは、利用予約をすることで、自宅から市内各施設を結ぶルートを利用できるものである。導入に当たっては、市が運営主体となり財源を確保することなどが課題であるが、導入を要望する自治会等があれば、地域の課題解決に向け、意見交換を行うなど調査研究をしていく。

通学路の安全対策

対策が必要な箇所への対応は 情報を共有し安全確保に取り組む

青山ひろかず議員(清風いちかわ)
令和3年7月に通学路緊急一斉点検を実施し、明らかとなった危険箇所は18か所あったが、5年6月

答 通学路に関する情報は、各学校や地域住民等から随時受け付けており、その内容に基づき全て現場確認をし、学校、道路管理者及び警察等と情報共有して対応している。今後も学校や地域からの情報を共有するとともに、関係機関と連携し、児童の安全確保に取り組む。